



26

いつも明るく  
元気いっぱい

「東芝富士女子バレー部」



笑顔でピース

私たち東芝女子バレー部員は、現在12人。9人制バレーにしては少人数ですが、平均年齢20歳、とても若く、いつも明るく元気いっぱいです。

練習は、火・日曜以外毎日。冬の間は合宿や体カトレーニング、また4月から10月は試合も多く、ほとんど休みはありません。時々休みたくなることもあります。いざ練習となるとみんな真剣。だれがボールを落とすものかと、必死でボールに食らいついていきます。

毎年、実業団の全国大会が3回行われますが、最近はおと一歩というところで予選落ち。ことしこそはと、みんな燃えています。4月には新入部員2人が加わるので、また更にパワーアップして、全国大会出場目指し頑張ろうと思います。

問い合わせ 東芝(株)富士工場 大石 ☎62-5535

春3月。やわらかな日差しの中で、桃のつぼみも膨らんでいます。

ひな祭りも、もうすぐ。初節句のお宅では、ひな人形の飾りつけはもう終わったころでしょうか。



# ひな人形

ひな人形たちは、三月になると深く、静かな眠りから目覚めます。内裏びな、三人官女、五人ばやしたちは、赤い毛せんの上に、桃の花と一諸に飾られます。ひな祭りは、女の子のお祭り。桃の節句とも呼ばれます。



緑町の山崎勇さんから、昭和二十四年当時のひな人形をいただきました。「女の子

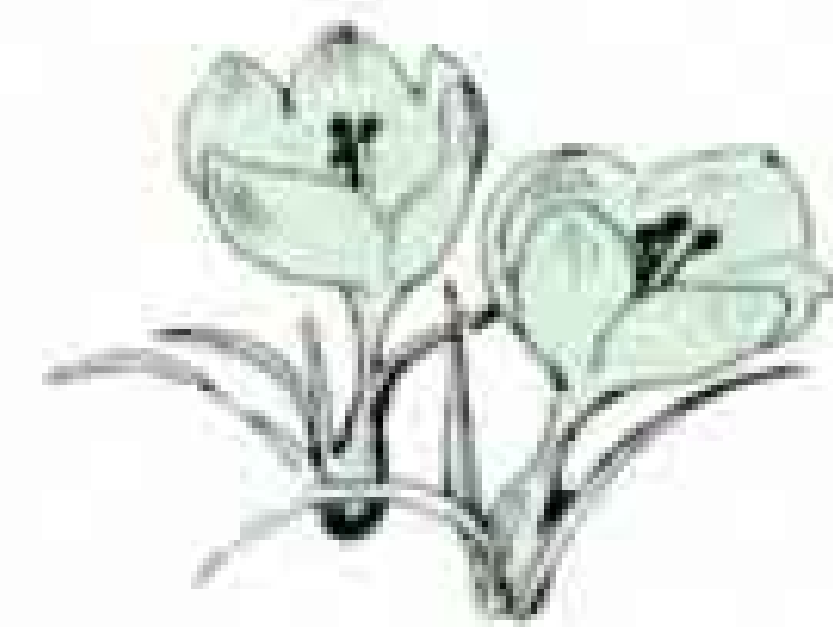
山崎 勇さん

(緑町)

が生まれて、太陽のように明るく育つよう陽子とつけました。この人形は、そのとき買ったもの。原の「桃里」に親類があつて、つぼみの桃を譲ってもらつたりして「ひな祭りが近づくと、もちをついたね。草もちと白と赤の三色。『桃花酒』も飲んだ覚えがあるね」。

長女の陽子さんは、結婚して今では一男一女のお母さん。「小学生のときには、妹と一諸にお道具類で遊びました。母は、早く幸せな結婚ができるようにと、お彼岸前に飾って終わるとすぐにしまっていました。きちょうめんで、子供のしつけも厳しい人でした。人形を見ていると、母のことを思い出します」。

丁寧に保存されてきた人形。その一つ一つに、長い年月のさまざまな深い思いも、つづられているようです。



△初め寒くても、最後はポカポカ

本市は、中国の嘉興市と友好都市提携を結んでいます。春になると毎年やって来るお客さんがいます。それは、中国北東部の黄土地帯から飛んで来る細かな砂じん「黄砂」です。上空の西風に乗ってやって来て、空が黄色くかすむので、それとわかります。

こちら編集室

三年生が、少しでも勇気づけられたら一番うれしいです。

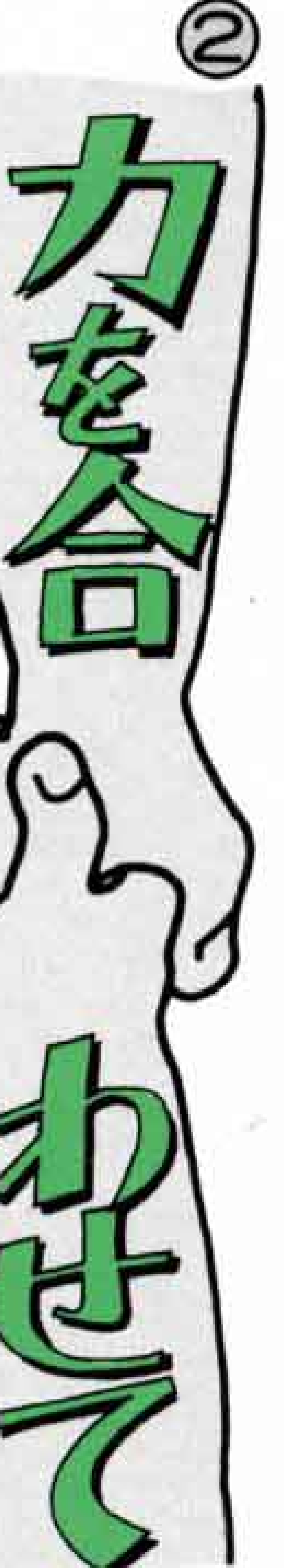
三年生の男子全員が、三年生の健闘を祈って、上半身裸で腹の底から声を出し、エールをおくるのが田子浦魂です。練習では、少しまとまりのない感じでしたが、本番はびつたり意気が合い、「エッサ・エッサ」のかけ声が体育館中にひびきわたりました。



△下級生から贈り物

## 三年生を励ます会

「三年生を励ます会」は、進路決定などで、残り少ない中学生生活を忙しくすごしている三年生の力に、少しでもなれたらと、二月十二日に行いました。



田子浦中学校生徒会活動